

この評価ソフトは、改正省エネ基準の経過措置が終わる2015年3月までの期間限定で使用できます。

CASBEE 新築[簡易版]

評価結果

使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010年進補版Ver.2 (BPI/BEI対応) 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010bpi&bei(v.2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)セントラル商事貸店舗新築工事	階数	6 F
建設地	海老名市中央2丁目152番地1他4筆	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	1,039 人
気候区分		年間使用時間	4,745 時間/年
建物用途	集会所、工場、	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年1月 予定	評価の実施日	2014年7月25日
敷地面積	3,488 m ²	作成者	有限会社マックスフィールド
建築面積	2,877 m ²	確認日	2014年9月4日
延床面積	14,145 m ²	確認者	有限会社マックスフィールド



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

0.8 ★★★★★

環境品質 Q

環境負荷 L

BEE=1.0

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5

Q1 室内環境: 3

Q3 室外環境(敷地内): 3

LR1 エネルギー: 3

LR2 資源・マテリアル: 3

LR3 敷地外環境: 3

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.8

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.7

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 2.9

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項

総合	その他	
<p>建物は耐火建築物により、外壁はALCを使用した。</p> <p>サッシはLow-eガラス+ブラインドの設置にて断熱性能を確保した。</p>		
<h4>Q1 室内環境</h4> <p>LEDを積極的に採用し省エネを考慮した。</p> <p>換気回数を法定基準より大きくクリアして良好な空気室の確保した。</p> <p>建築資材: F、VOC放散量を抑えた計画。</p>	<h4>Q2 サービス性能</h4> <p>内装材の床は耐久性が充分あるタイル、壁と天井はリニューアブル時を考慮した塗料を基本に計画した。</p>	<h4>Q3 室外環境(敷地内)</h4> <p>歩行者専用道路側は周囲環境を配慮し、緑地(ハクチョウゲ・ジンチョウゲを植栽)計画とした。</p>
<h4>LR1 エネルギー</h4> <p>照明はLED、衛生器具は節水タイプを使用した。</p>	<h4>LR2 資源・マテリアル</h4> <p>内装仕上及び建材は出来る限り低環境負荷材使用の計画とした。</p> <p>躯体と仕上げを容易に分別可能な計画とした。</p>	<h4>LR3 敷地外環境</h4> <p>十分な駐車スペースを確保して、交通渋滞問題に配慮した計画とした。</p>

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)

「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される